

2011 年度 京都学園大学 大学院
入学試験要項

バイオ環境研究科

博士課程後期



アドミッションポリシー

グリーンバイオ研究とバイオ環境デザイン研究のより積極的な連携や複眼的研究を更に進めて、「バイオ環境」というコンセプトでの新しい研究領域の模索を行い、新しい環境技術の創成を行おうとする学生を求める。

1. 募集研究科及び募集定員

研究科	専攻	課程	募集定員
バイオ環境研究科	バイオ環境専攻	博士課程 後期	3名

募集定員には外国人留学生・社会人等の志願者も含まれます。

募集定員は、A・B 日程の合計です。

2. 出願資格

(ア) 一般出願者

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2011年3月末までに該当見込みの者

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者（学校教育法第102条第1項）
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与されたもの者（同施行規則第156条第1号）
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与されたもの者（同施行規則第156条第2号）
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与されたもの者（同施行規則第156条第3号）
- (5) 本大学院において個別の入学資格審査により認めた者（同施行規則第156条第5号）
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、修士の学位を有する者と同等の学力があると、本大学院において認めた者（平成元年文部省告示第118号）

(イ) 個別の入学資格審査を必要とする者

上記(ア)の(5)および(6)により出願するものは事前に個別の出願資格審査（P.4 個別の出願資格審査について参照）を受けなければなりません。該当する者は、個別の出願資格審査受付日前に入試課へ申し出てください。

また(ア)の(6)による合格者は仮合格者であり、3月末に1年次の取得単位成績を確認後正式に合格者とします。したがって、2011年3月25日(金)までに成績証明書を提出して下さい。また仮合格者は、学力試験の成績が特に優秀であったものから選抜されます。

(ウ) 社会人出願者

なお、入学定員の枠内で社会人も受け入れる。社会人とは、上記(ア)の(1)～(6)のいずれかに該当し、かつ所属事業所・企業等の長から大学院博士課程後期への在籍に同意を得ている者をいいます。なお、当大学院博士課程後期の教育研究内容に鑑み、社会人であっても一般入試合格者と同等の学力を求めます。た

だし、研究歴によっては試験の一部を免除することがあります。免除の対象であるかを事前に検討するために、個別の出願資格審査（P.4 個別の出願資格審査について参照）の申請期間の開始前までにご連絡ください。よって、社会人についても個別の出願資格審査を必要とします。

3. 日程

	出願	試験日	合格発表日	1次手続	2次手続
A日程	2010年9月27日(月) ～10月6日(水)《消印有効》 ※10月8日(木)まで持参可	2010年 10月16日(土)・ 17日(日)	2010年 10月26日(火)	2010年 11月12日(金)	2010年 12月3日(金)
B日程	2011年1月31日(月) ～2月9日(水)《消印有効》 ※2月10日(木)まで持参可	2011年 2月17日(木)・ 18日(金)	2011年 2月28日(月)	2011年 3月11日(金)	2011年 3月25日(金)

4. 選考方法

筆記試験、面接試験、書類審査により総合的に判断します。筆記試験は英語と専門科目について行います。なお、実用英語技能検定準1級の合格者、TOEIC740点あるいはTOEFL554点以上の高得点者で、その申告があれば英語試験を免除します。専門科目については次項試験科目等[専門科目]に示す10分野のうち2分野の問題を、試験時間中に選択し解答してください。

5. 試験科目等

時間		試験	
1日目	9:30 ～11:00	筆記試験 「英語」	英和辞書の持ち込み可（ただし電子辞書は不可）
	11:15 ～12:45	筆記試験 「専門科目」	下記に示す10分野のうち2分野の問題を選択し解答する
2日目	13:30～	面接	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 修士論文あるいはそれに相当するものについての発表と質疑応答 ▶ 学力およびそれに関連する事項

[専門科目]

分野	出題範囲キーワード
生物有機化学	有機化学（反応機構、機器分析を含む）、化学生態学
応用生化学・遺伝子機能学	生体高分子学、遺伝子工学、細胞生物学
微生物機能開発学	発酵醸造学、応用微生物学、環境微生物学
食品機能・健康科学	食品化学、食品機能学
植物バイオテクノロジー	植物生理学、植物生化学、植物細胞工学
流域環境デザイン	水圏生態学、風景・景観学、流域社会
都市自然化デザイン	環境アセスメント、都市緑化
農・森林環境デザイン	生物多様性、農地生態系
エコマテリアル	エコマテリアル学
バイオマス高度化利用	バイオマス利用工学、環境工学

6. 試験場

本学

7. 出願書類

- ① 入学願書(志願票・写真票)
- ② 卒業証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
- ③ 学部卒業を証明するもの
- ④ 修士学位取得証明書または修士学位取得見込証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
- ⑤ 博士前期課程修了証明書または博士前期課程修了見込証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
④⑤は出身校等によりいずれか
- ⑥ 成績証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
学部での成績を証明するものと修士または博士前期での成績を証明するものの2種類が必要
- ⑦ 修士論文概要または研究業績の概要
A4 横書き 1,000 字以内(図表を含む) 志望専攻・志望研究分野・氏名付記
- ⑧ 個人調書(本学所定の用紙)
- ⑨ 英語について免除を希望する場合は、その資格を証明する書類(コピー可)
- ⑩ 官公庁、企業などに在職中の者は、所属長の受験承諾書
- ⑪ 外国人留学生の場合は、経費支弁能力を証明する書類(通帳のコピー)

8. 入学検定料

35,000 円

9. 出願の方法・注意事項

- ① 同封の願書により入学検定料 35,000 円を出願期間内に本学指定の銀行口座に「電信扱い」で振り込んでください。本学入試課へ持参する場合は現金持参可能です。納入された検定料は理由の如何を問わず返還しません。
- ② 出願に必要な書類を所定の封筒にて、出願期間内に書留速達で郵送してください。本学入試課へ直接持参することも可能です。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は受験を認めません。また、受験後に判明した場合には、受験を無効とし、合否の判定及び入学を取り消します。
- ④ 身体に障害のある者で、受験上の特別の配慮を希望する場合は、事前に本学入試課に申し出て下さい。

10. 合格発表

合否結果は郵送にて通知します。電話等による問い合わせには一切応じません。入学手続等については、合格通知に同封している入学手続要項を参照してください。

個別の出願資格審査について

個別の出願資格審査を必要とする方は、以下の手順に従って事前審査を受けてください。なお、個別の出願資格審査を受けようとする場合は、各書類を郵送する前に本学入試課へ申し出を行い、申請書類の種類の確認を行ってください。特に申請書類(2)(3)については、発行する学校によって名称が異なる場合がありますので注意してください。

1. 申請期間

A 日程：2010年9月13日(月)～9月17日(金)

B 日程：2011年1月17日(月)～1月21日(金)

いずれも期間内必着で、書留にて郵送してください。封筒には「大学院出願資格認定申請書在中」と明記してください。

2. 申請書類

社会人および出願資格(5)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書、本学所定様式)
- (2) 最終学歴の卒業証明書
- (3) 最終学歴の成績証明書(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)
- (4) 業績調書(論文リストとその内容、本学所定様式)
- (5) 受験承諾書

なお、出願資格(5)による出願者については、口頭試問により出願資格審査を行います。日時は別途連絡します。

出願資格(6)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書、本学所定様式)
- (2) 在籍証明書(在籍期間が明記されたもの)
- (3) 成績証明書(学校が発行したもので厳封されていること)
- (4) 1年次における修得見込み科目・単位数(本学所定様式で本人の申告による)

なお、出願資格(6)による入学試験合格者は仮合格者であり、3月末に1年次の取得単位成績を確認後正式に合格者とします。したがって、2011年3月25日(金)までに成績証明書を提出して下さい。また仮合格者は、学力試験の成績が特に優秀であったものから選抜されます。

長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限(3年間)では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、計画的に4～6年間(履修計画期間)をかけて教育課程を履修し、修了する制度です。

1. 申請資格

- ① 職業を有している者
- ② 育児、介護等の事情により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者
- ③ その他やむを得ない事情(身体の障がい、疾病等)を有し、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

2. 履修計画期間

標準修業年限3年を含み、4～6年(年単位)

3. 申請手続き

入学日の原則20日前(2011年3月10日)までに指定書類を提出してください。

4. 授業料等の取り扱い

履修計画期間における授業料等の額は、標準修業年限分の授業料等を履修計画期間で除した額となります。

学費等

		年額	年額内訳			備考
			入学手続き時		10月納付	
			1次手続	2次手続		
入学金		200,000	200,000			入学時のみ 京都学園大学卒業者は 100,000円に減免
学費	授業料	950,000		475,000	475,000	
	施設設備費	330,000		165,000	165,000	
	実験実習費	170,000		85,000	85,000	
	小計	1,450,000		725,000	725,000	
合計		1,650,000	200,000	725,000	725,000	

入学辞退

2次手続完了後に、入学を辞退する場合には、2011年3月末日までに書面で申し出ることが必要です。その場合に限り入学金以外の納付金(2次手続分)を返還します。詳細は合格通知に同封する入学手続要項を参照してください。

研究科の概要

研究分野	研究内容
生物有機化学	抗生物質、ホルモン、フェロモン、摂食阻害物質など、さまざまな機能を持つ化学物質の構造を解析し、その働きを探求します。さらに、医薬や農薬への応用を検討し、人々の健康、快適な生活への貢献を目指します。
応用生化学・遺伝子機能学	遺伝子やタンパク質と環境の変化との関係を最先端解析装置で分析。遺伝子の潜在的な資源としての可能性に着目、酵素、代謝、生体反応の基礎と応用、遺伝子の機能などの研究。遺伝資源の活用を追求します。
微生物機能開発学	細菌、酵母、カビなどの持つ有用な能力の探索とその開発。微生物の力を利用し、環境にやさしいモノづくり、有害物質の無害化による環境修復技術（バイオレメディエーション）を追求します。
食品機能・健康科学	環境に優しい食品加工技術、最先端の分析技術、濃縮・分離・精製技術および新たな機能評価方法を駆使して、新しい食品素材を開発・研究します。その成果を健康的な食品製造や、医薬産業・化学産業へ応用します。
植物バイオテクノロジー	太陽エネルギーと二酸化炭素を使って有用な物質を作る能力、環境浄化能力など、植物のもつさまざまな機能や能力を研究。その能力を食糧・資源・地球環境における、さまざまな問題の解決に役立てます。
流域環境デザイン	河川環境・流域思考を深めつつ、保全的に生態系サービスを引き出す技法を追求します。また風景・景観学および水環境をめぐる緑の土地利用学を足場にして、市民社会にとっての公共圏である流域社会を多様にデザインしていきます。
農・森林環境デザイン	野生生物を保全する環境づくり、里山のあり方などを調査し、農業と自然環境が共存する方法などを探ります。さらに環境に優しい森林計画や農業のあり方を研究し、自然との共存を追求します。
都市自然化デザイン	都市に緑をどのような方法で取り入れていくか。都市と自然環境をどのように共存させていけばよいのか。住環境のあり方、都市廃棄物の問題、街づくりまで、理想の都市環境を追求します。
エコマテリアル	環境に優しい物質、素材（エコマテリアル）の探索から、理想的なリサイクルのしくみの開発まで、地球環境への負荷を低く抑える環境材料の合成、解析、応用を研究します。
バイオマス高度化利用	地球環境と地域環境の改善を目的として、生物資源（農産資源、林産資源、生ゴミなど）をエネルギー源や材料源として有効に利用するための研究に取り組みます。

個人情報の取り扱いについて

受験生の方からご提出いただいた出願書類により、本学が保有した個人情報は、以下のように利用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

- (ア) 出願書類に不備があった場合に当該受験生に連絡を取り、指導します。場合によっては、当該受験生の所属する大学等に連絡を取ります。
- (イ) 受験票を当該受験生に送付します。
- (ウ) 合否通知を当該受験生に通知します。
- (エ) 合格者に入学手続き書類等を送付します。
- (オ) 個人を特定しない集計処理をします。
- (カ) 入学式の案内、学生総合保険等を送付します。
- (キ) 入学後の各種案内を送付・連絡します。
- (ク) 入学後の名簿作成・修学指導等に利用します。
- (ケ) 個人情報および入試結果のデータ処理を業者に委託する場合があります。なお、受託業者は、上記の情報およびデータを京都学園大学が明示する用途のみに使用し、受託業務を超えて利用することはありません。本学は、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準にしています。

出願に係わる個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供しません。ただし、①法令に基づく場合、②個人の生命・身体又は財産の保護のために必要がある場合であって本人の同意を得ることが困難であるときなど、個人情報保護法並びに学校法人京都学園個人情報の保護に関する規程に定める特段の事情がある場合は、この限りではありません。

なお、出願に係わる個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

京都学園大学 入試課

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷 1-1

TEL0771-29-2222(入試課直通)

<http://www.kyotogakuen.ac.jp/>